

# Power Editor



## 取扱説明書

### UNIVERSAL HARNESS KIT

E89671-K00120-00  
2023.12発行  
Ver. 3-1.01

#### 1. はじめに

この度は、Power Editor Rをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品を安全に使用していただき、かつ機能を十分に発揮させるために取付け前及び、使用する前に本書をお読みください。

- 本書は本製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品はノーマル車両及びHKS製品取付車両を基準に開発されております。以上の車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 消耗部品や紛失部品及び本書のご注文は、お買い上げの販売店にお問合わせください。部品を発注する際は、商品名・コードNo.・車両型式・エンジン型式を注文先にお伝えください。
- お客様、又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は、DC12Vマイナスアースの車両のみに使用可能です。
- 本製品の仕様は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は予告なく改版することがありますので、あらかじめご了承ください。

商品名	Power Editor R
コードNo.	42018-AK001
用途	ターボ車両のブーストアップ
使用可能車種	UNIVERSAL HARNESS KIT

#### 2. 安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。本製品を正しくご使用いただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

**警告** 作業員又は使用者が、死亡又は重傷を負う可能性がある場合。

**注意** 作業員又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合(人損) 拡大物損の発生が想定される場合(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害[例えば車両の破損及び焼損])

#### 警告

- 換気の良い場所で作業を行ってください。換気の悪い場所で作業すると、爆発及び火災の原因となります。
- コネクタを外すときは、断線しないようにコネクタを持って外してください。ショートなどによる火災、及び電装品の破損・焼損の原因となります。
- 使用中、本製品に異音・異臭などの異変があった場合には本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店にお問合わせください。そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。
- 作業は、車両を駐車しておける場所で行ってください。

#### 注意

- 本製品の取付けは必ず専門業者に依頼してください。専門外の方が作業されると、火傷やけがなどを負う恐れがあります。
- 本製品の加工・分解・改造などの誤使用及び修理は絶対に行わないでください。感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 高温になる場所・水などがかかりやすい場所・湿気やほこりの多い場所を避けて取付けてください。作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- 配線は断線・ショート・誤配線のないように行ってください。感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 故障などの修理はお客様ご自身で対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、車両に異音・異臭・振動などの異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。
- 本製品にはブーストアップデータが入っていません。車両毎に現車セッティングを行ってください。
- コネクタを抜き差しする際は、必ずコネクタを持って行ってください。ケーブルを引っ張ってしまうと断線の恐れがあります。
- 車両の修理や車検の際は、本製品を取り外してから、車両を業者に引き渡してください。
- 日常点検はドライバーの責任です。必ず実施してください。

#### 3. 本製品の特徴

- ・ 車両のブースト圧センサ及びエアフロセンサの配線に本製品を割込ませ、現車セッティングすることでブーストアップすることができます。
- ・ 本製品を装着後でも接続ハーネスから Power Editor R 本体を外し、代わりに同梱の復帰コネクタを接続することでノーマルの状態に戻すことができます。
- ・ 同梱の USB ハーネスでパソコンと接続し、「Easy Writer for Power Editor R」を使用することで、本体のブーストアップデータ(マップ)を変更することができます。  
※「Easy Writer for Power Editor R」は同梱していませんので、HKS ホームページからダウンロードしてご使用ください。  
※ USB ハーネスを接続する際は、接続ハーネスに挿さっている防水用コネクタを外してください。セッティングが完了し USB ハーネスを外した後は、防水用コネクタまたはマップ切替えスイッチ用ハーネスを接続してください。



#### 4. パーツリスト

1 Power Editor R本体 1ヶ	2 接続ハーネス 1ヶ	3 マップ切替えスイッチ用ハーネス 1ヶ	4 USBハーネス 1ヶ
5 追加信号線 7ヶ	6 防水栓 7ヶ	7 コルゲートチューブ 4m	8 Yマニホールド 6ヶ
9 チューブクリップ 10ヶ	10 スプライス 14ヶ	11 熱収縮チューブ 14ヶ	12 復帰コネクタ 1ヶ
13 タイラップ(小) 5ヶ	14 タイラップ(中) 5ヶ	15 タイラップ(大) 4ヶ	16 タイラップ(特大) 2ヶ
17 両面テープ 1ヶ	18 タイラップベース 4ヶ	19 M4 ネジ 4ヶ	20 取扱説明書(日・英) 各1部

#### 5. Power Editor RのLED表示

**【動作確認用 LED】**  
消灯：電源 OFF  
点灯：電源 ON(正常動作)  
連続して点滅：マップデータ破損  
(連続して点滅の時はブーストUPはせず、ノーマル状態と同じ動作となります。)

**【マップ切替えスイッチを使用する場合】**  
マップ A に切替え時、LED が 1 回点滅  
マップ B に切替え時、LED が 2 回点滅



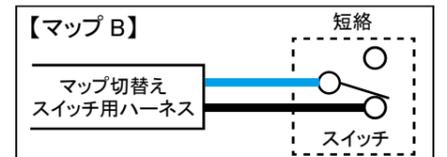
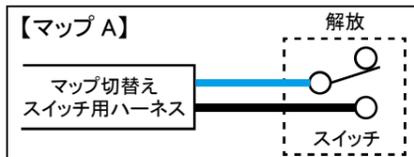
#### 【マップ A・B について】

- ・ マップは A と B の 2 つがあり、マップ切替えスイッチで切替える事ができます。

#### 【セッティング例】

マップ A	街乗り用データ
マップ B	サーキット用データ

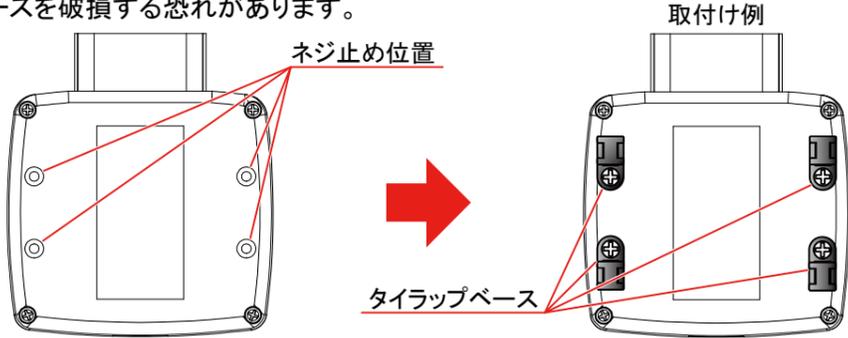
- ・ マップ切替えスイッチ用ハーネスを接続し、青線と黒線を解放するとマップ A、短絡するとマップ B に切替わります。



- ・ マップ B を使用する場合、マップ切替えスイッチが必要になります。  
※ マップ切替えスイッチは同梱していませんので、任意でご用意ください。

## 6. タイラップベースを使用する場合

- ・タイラップベースを使用する場合、必ず同梱の M4 ネジを使用してください。サイズが合っていないネジを使用するとタイラップベースが外れ易くなったり、ケースを破損する恐れがあります。



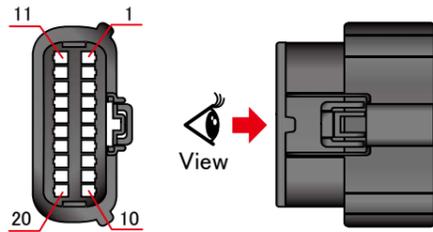
## 7. Power Editor Rの機能一覧

No.	機能	数	備考
1	電圧補正	4ch	入出力：0V-5V
2	パルス周波数補正	1ch	入出力：0V-5V、250Hz～15KHz
3	回転信号入力（マップ軸）	1ch	入力：0V-5V 又は 0V-12V
4	車速信号入力（マップ軸）	1ch	入力：0V-5V 又は 0V-12V
5	スロットル信号入力（マップ軸）	1ch	入力：0V-5V、電圧補正 ch と共用
6	USB 通信	1ポート	共用ポートのため排他使用
7	マップ A・B 切替え		

## 8. 接続ハーネスの準備

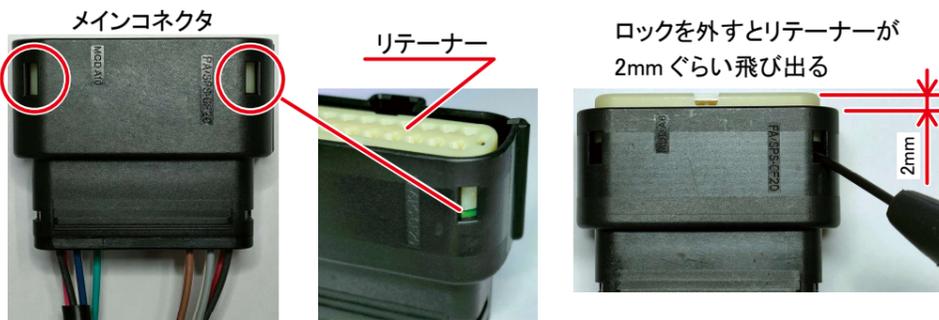
- ・接続ハーネスは、追加信号線または防水栓を取付けることで完成します。目的の仕様に合わせて接続ハーネスを完成させてください。
- ※ 作業には 先が 2mm 以下の精密ドライバ(ー)が 1 本 又は 2 本 必要です。

※ 下表で赤丸印が付いている Pin は出荷状態で信号線または防水栓が取付け済です。



Pin	機能	Pin	機能
①	電源（センサ 5V）	⑪	GND
②	電圧入力（1ch）	⑫	電圧出力（1ch）
③	電圧入力（2ch）	⑬	電圧出力（2ch）
4	電圧入力（3ch）	14	電圧出力（3ch）
5	電圧入力（4ch）	15	電圧出力（4ch）
⑥	ー（防水栓）	⑯	ー（防水栓）
7	エアフロパルス入力	17	エアフロパルス出力
⑧	回転信号入力	18	車速信号入力
⑨	USB D-	⑲	USB D+
⑩	USB 5V	⑳	USB GND

- ① 接続ハーネスのメインコネクタにはまっているリテーナのロックを外す。
  - ・精密ドライバ(ー)でリテーナを持ち上げるようにしてロックを外してください。
  - ※ 精密ドライバを 2 本使用し、左右同時に持ち上げるとロックを外し易くなります。



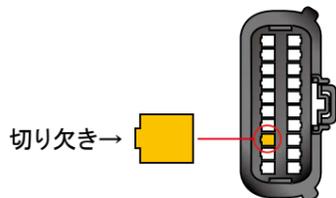
- ② メインコネクタの空き Pin に追加信号線または防水栓を挿し込む。

- ・コネクタ穴の切り欠きと、追加信号線の端子または防水栓の出っ張りの向きを合わせ、「カチッ」と音がするまで挿し込んでください。

※ 防水性能を確保するため、全ての Pin に追加信号線または防水栓を挿してください。

※ 一度奥まで差込むとコネクタ内部でロックが掛かり抜けなくなります。十分注意して作業してください。

再度抜く場合はリテーナを完全に取外してからコネクタ内部のロックを外す必要があります。

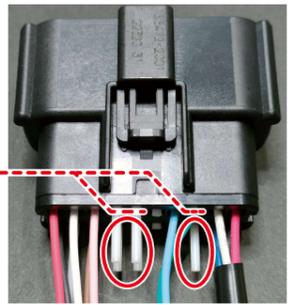


- ③ リテーナを元の位置まで押し込み、ロック状態にする。

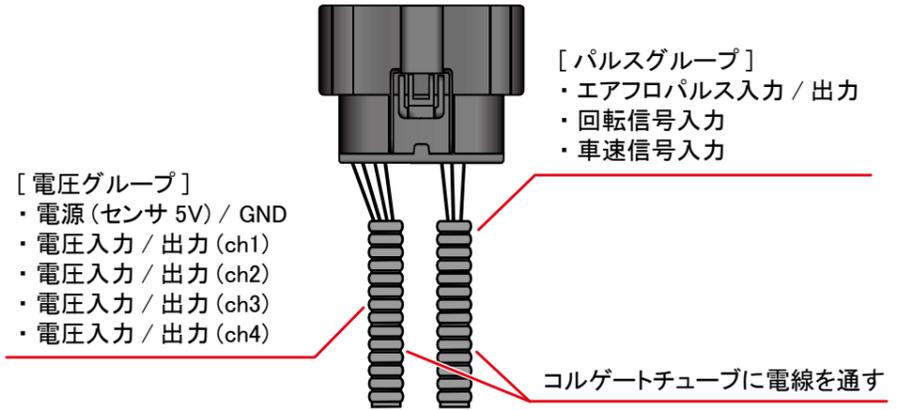
- ④ 防水栓をカットする。

- ・防水栓を取付けた場合はコネクタから 9mm ぐらい飛び出します。周りの電線に干渉しないよう面位置でカットしてください。

防水栓の飛び出た部分をカットする →



- ⑤ 電線を [電圧グループ] と [パルスグループ] に分け、コルゲートチューブ、Y マニホールド、チューブクリップを取付ける。



- ・コルゲートチューブを分岐させる場合は Y マニホールドを使用する。

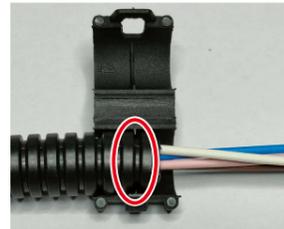


Y マニホールド内側の溝にコルゲートチューブの溝がはまるように取り付ける。



Y マニホールドを閉じて全てのツメ (9ヶ所) をロックする。

- ・コルゲートチューブの末端にチューブクリップを取付ける。



チューブクリップ内側の溝にコルゲートチューブの溝がはまるように取り付ける。



チューブクリップを閉じてツメをロックする。

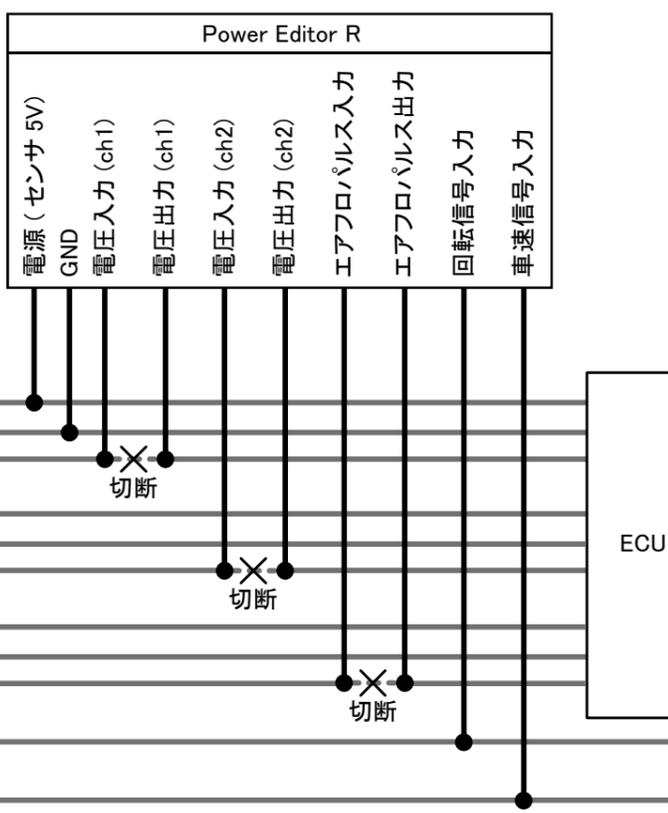
※ ツメが外れ易い場合はシリコン系接着剤でツメを固定してください。

### ⚠ 注意

- Y マニホールドやチューブクリップを閉じる際、電線を挟まないよう注意して作業してください。

## 9. 取付手順

- ① 車両のエンジンを切り、10 分以上放置した後バッテリーのマイナス端子からケーブルターミナルを取外す。
  - ※ 車両により 10 分では放置時間が足りずエラーが入る場合があります。適宜放置時間を設けてください。
- ② Power Editor R 本体を任意の場所に設置・固定する。
  - ※ エンジン本体などの高温になる場所や、直接水が掛かる場所を避けて設置してください。
  - ※ 両面テープで固定する場合は貼付け面の汚れを落とし、よく脱脂してから貼付け、タイラップを併用し固定してください。
  - ※ 両面テープだけで固定すると、経年劣化などで剥がれた場合危険です。
- ③ Power Editor R 本体と接続ハーネスを接続する。
- ④ Power Editor R の接続ハーネスを各センサの配線に割込ませるように接続する。
  - ※ スプライスを使って接続し、接続部分は熱収縮チューブで絶縁してください。
- ⑤ Power Editor R の接続ハーネスは、走行に支障を来さないよう同梱のタイラップで固定してください。
  - ※ ハーネスの取り回しは、エンジン本体など高温になる場所を避けてください。
- ⑥ 全ての配線が正しく接続できていることを確認後、バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルを取付ける。
- ⑦ 同梱の USB ハーネスで Power Editor R をパソコンに接続し、「Easy Writer for Power Editor R」を使用して補正するチャンネルを有効にしたデータを書き込む。
  - ※ 補正するチャンネルが無効設定のまま IG を ON にすると、車両側でエラーが入る場合があります。
- ⑧ IG を ON にし、Power Editor R 本体の LED が点灯することを確認する。
  - ※ IG を ON にしても LED が点灯しない場合は、電源（センサ 5V）が正しく接続されているか確認してください。



### 10. マップデータの書き込み

- ・ Power Editor Rの接続ハーネスに、同梱のUSBハーネスを取付けパソコンと接続する。
- ・ 「Easy Writer for Power Editor R」を使用してマップデータを書込む。
- ※ マップデータの作成・書き込みの方法は「Easy Writer for Power Editor R」の取扱説明書を確認してください。

### 11. 故障と思う前に

本製品が正常に作動しない場合は、故障と判断する前に下記の症状と照らし合わせて、配線等の確認をしてください。  
 チェックランプが点灯するなどの異常が発生した際は、Power Editor R本体を取外し同梱の復帰コネクタを取付けてください。

症状	原因	対応
復帰コネクタを使用した状態でもチェックランプが点灯する	ハーネスが断線している 又は配線の接続部分が接触不良を起こしている	断線部分や接触不良部分を修正する
	コネクタが抜けかけている	各コネクタのロックが掛かる状態までしっかり差し直す
Power Editor Rを接続している時だけチェックランプが点灯する 又はブーストが上がらない	Power Editor R本体が故障している	Power Editor Rの検査を依頼する (お買い上げの販売店まで) お問合わせください
	書込んだセッティングデータが車両に合っていない	再度現車セッティングを行う
Power Editor R本体のLEDが点滅している	セッティングデータを書込んだ際、正常に書き込みが完了しなかった	Easy Writer for Power Editor Rを使用し、再度データを書込む

### 12. 異常・故障時の対応

**⚠ 警告**

●使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店までお問合わせください。  
 そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。

---

**⚠ 注意**

●故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。  
 ●走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。

故障の際は、保証書に必要事項が記入・捺印されていることを確認し、修理を依頼してください。

### 13. アフターサービスについて

本製品に関するお問合わせ、及び紛失部品等の購入、保証期間経過後の修理、また、お客様の不注意等により修理が必要となった場合は、お買い上げの販売店までお問合わせください。

### 14. 本製品の仕様

- 動作保証電圧 ..... DC5V～16V
- 動作可能温度 ..... -20～100°C
- 外形寸法 ..... 105×92×35mm

### 15. 用語の説明

- 専門業者 : お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場・ショップ。
- コードNo. : HKS製品及び部品を注文する際に使用する番号。
- ユーザマニュアル : お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。
- 点検・整備 : 安全に運転するために、本製品及び自動車全体の機能・性能を確認し、不具合部位を修理・調整すること。
- 日常点検 : 自動車を運行する人が行う点検。日常点検及び点検項目は、ユーザマニュアルに従ってください。
- 高温になる場所 : 温度上昇の高いところ。  
例、エンジン本体や排気系部品の近傍。
- 誤使用 : 加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤使用。

### 16. 改訂の記録

Ver.	年 / 月	記載変更内容
3-1.01	2023/12	記載変更内容 初版